

2007年9月19日

株式会社みずほコーポレート銀行

中国現地法人 青島支店の開設準備認可の取得について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：齋藤 宏）の100%子会社である中国現地法人「みずほコーポレート銀行(中国)有限公司」が、中国銀行業監督管理委員会宛に提出していた中華人民共和国山東省青島市における支店開設準備申請が、2007年9月10日付で正式に認可されました。これを受け、08年春の支店開設を目指して具体的な準備作業を開始致します。

山東省及び中国北部沿海地域（北京市、天津市、河北省、遼寧省）から構成される環渤海経済圏は今後の高度成長が予想され、中でも山東省は2006年のGDPが1兆8500億元と全国第二位の経済規模で年率二桁台の成長を堅持する極めて注目されている地域であります。特に青島市は、山東省における経済の中心都市であり、電子、食品、繊維、機械、流通など多様な業種にわたり日系企業ほか多数の外資系企業が投資しているほか、中国を代表する家電、食品等の大手企業が本拠を有する産業都市です。また日本との貿易額は輸出、輸入サイドともそれぞれ米国、韓国に次ぐ第二位の地位を占めており、日本とも大変深い経済関係を有しております。

現在、青島市を中心とする山東省の日系企業をはじめとするお取引先に対しては、中国現地法人本店、北京支店、大連支店等から各種金融サービスを提供しておりますが、今後のお取引拡大及び企業進出支援を目的として、青島支店を設置することとしたものです。

青島支店は、みずほコーポレート銀行(中国)有限公司の現行6拠点（上海本店、深セン、大連、北京、無錫、天津の各支店）及び、07年10月開業予定の大連経済技術開発区支行に続く8番目の拠点となる予定です。これにより当行グループは中国（除く台湾、香港）において、当行4駐在員事務所（広州、厦門、武漢、南京）も含め充実したネットワークを有することになりますが、今後とも機動的な拠点展開を行うことで、お客さまの事業展開を万全の形でサポートする体制を整えてまいります。

<ご参考：山東省及び青島市概要>

- 山東省は山東半島全域に位置する中国の有力な省（2006年末総人口約9,300万人）。天候、土壌に恵まれ伝統的に農業に強みを持つが、1980年代より家電、食品、繊維、機械、エネルギー、流通等の産業が発展。外資導入も上位。
- 青島市は山東半島南端に位置する山東省第一の経済産業都市（省都は済南）。港湾を中心に発展し（コンテナ取扱量は中国第3位）、現在は家電、食品等に多くの中国ナショナルブランド企業を有する。2008年の北京オリンピックでは海上競技を開催予定。

以 上